外国語教育～中国語＆英語をがんばる子どもたち

レストランで食事オーダーのロールプレイ

国慶節のお飾りを作りながら楽しく中国語学習

4 年生の英会話原則　All　English

中学 3 年生は実践英語で実力アップ

GAME 要素を取り入れて FET と会話のピンポン

広州日本人学校は、文部科学省によって定められている学習指導要領に基づいて教育課程を編成しています。日本と同じ教科書を使い、授業の進め方も日本式です。また部活動や清掃活動、集団活動なども国内と同じように取り入れています。このため、日本から編入学してきたり、帰国したりする子どもたちが、転校によるストレスをできるだけ感じず、すぐに新しい学校に馴染むことができるのです。運動会や学習発表会などの際には、保護者の皆様からの励ましを受けて頑張る子どもたちの笑顔があふれていますが、これらも日本の学校という感じがする行事です。といってもせっかく国外・中国に設置されている私立学校ですから、地の利を生かす教育も取り入れ国際色豊かな子どもを育てたいと考えています。その一環として、外国語教育に取り組んでいますので紹介します。

まず中国語会話ですが、小学１年から中学３年まで、全学年で週１時間の授業を実施しています。上学年になると、レベル別に分けてクラス編成しているものの、すでに中国語に堪能な子どもには物足りなさも感じられ、また中途転入生も多いので、学年が上がると実力も上がる･･･と一概には言えないのですが、楽しく中国語に親しみ、またその文化に触れる機会になっています。初めて中国語に触れたはずの子どもも、いつの間にか校長先生より聞き取る力がついていてびっくりです。

英会話についても、小学１年生～４年生は週２時間、５・６年生は週３時間の学習を取り入れています。指導要領では５・６年生で「英語に親しむ」事を目標にしていますが、本校では､“使える”レベルを目指しています。ただし中途編入生も困らないよう指導を工夫し無理はさせず、英語が自然に好きになり話せるようになる授業を目指しています。中学部については、実践英語としてさらにレベルを上げ、卒業までに英検２級を取得することが目標です。今年は３年生だけで７名が達成しました。講師に FET と呼ばれる英語を母語とする講師を採用しており、その力を借りながらこれからも一層の充実を図っていきます。

子どもたちの夢は世界へと広がっています。